

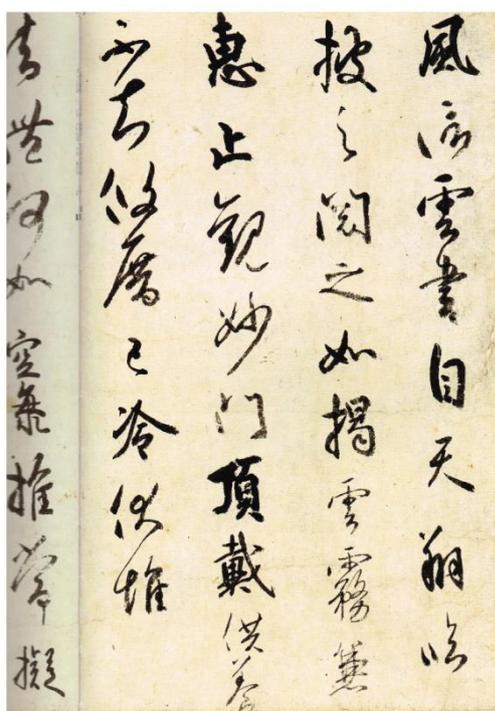
高野七口學

珈琲 (Cafe)

「高野七口学」題字 弘法大師空海 筆 「聾瞽指帰」より 高野七口再生保存会

空海書論「書は散なり」からの 密教哲学的主張

講師：野田 悟 高野山大学助教



空海の書論ともいわれる『遍照發揮性靈集』に収められる「勅使屏風書了即献書」は、嵯峨天皇への上表文である。これは、空海の書法思想を知るための重要な部分であり、嵯峨帝も三筆の一人に数えられることから分かる通り、中国書法に興味があったのが見て取れる。この度は、中国後漢の蔡邕(さいよう)の『筆論』と比較しながら、空海書法思想の奥深さを探る。

風信帖

日 時：10月4日(土) 受付 午後2時～ 講演 2時30分～3時40分

対 象：会員及び一般

場 所：橋本市保健福祉センター栄養指導室（洋室）橋本市東家一丁目3-1

申 込：不要

協力金：200円（資料代等）

問合せ：08014340985（高野七口再生保存会事務局）

皆様のご参加をお待ちしています。